

夏のイベント★参加者募集

地域の学びプログラム対象事業

【中央図書館】

1.でかぞうクラブ ブックトーク【きみにぴったりの本を見つけよう！】

日時：7月25日（木）10：00～11：30

場所：中央図書館 4階 視聴覚室

対象：小学5～6年生 定員：15名（先着順） 費用：無料

申込み：7月17日（水）9：30～ 中央図書館へ（電話可）

2.おはなしの庭【ストーリーテリング（すばなし）】

日時：8月7日（水）・21日（水）10：30～11：10

場所：中央図書館 2階 おはなしのへや

対象：5歳くらいから小学生 定員：各回20名程度（先着順）

費用：無料 申込み：7月24日（水）9：30～ 中央図書館へ（電話可）

【狭山台図書館】

1.ブッカー体験

日時：8月7日（水）・8日（木）①11：00～12：00、②15：00～16：00

場所：狭山台図書館 2階 視聴覚室

対象：小学4～6年生 定員：各回4名（先着順） 費用：無料

申込み：7月20日（土）9：30～ 狭山台図書館へ（電話可）

2.わくわくサイエンス【フライホイールカーの実験】

日時：8月10日（土）①13：00～14：30、②15：00～16：30

場所：狭山台図書館 2階 視聴覚室

対象：①小学1～2年生（要保護者同伴）、②小学3～6年生

定員：各回8名（先着順） 費用：100円

申込み：7月17日（水）9：30～ 費用を持って狭山台図書館窓口へ

3.でかぞうクラブ 【タイルコースター作りとおはなし会】

日時：8月17日（土）14：00～16：00

場所：狭山台図書館 2階 視聴覚室

対象：小学3～6年生 定員：8名（先着順） 費用：無料

申込み：7月21日（日）9：30～ 狭山台図書館へ（電話可）

4.ミニ・ピブリオバトル

日時：8月24日（土）13：30～15：00

場所：狭山台図書館 2階 視聴覚室

対象：小学3～6年生 定員：10名（先着順） 費用：無料 持ち物：おすすめの本1冊

申込み：7月27日（土）9：30～ 狭山台図書館へ（電話可）

5.ピブリオバトル

日時：7月28日（日）、8月25日（日）15：00～16：00

場所：狭山台図書館 2階 視聴覚室

対象：小学生～大人 費用：無料 申込み：不要 持ち物：おすすめの本1冊



よむぞうタイムズ

88号

5年生 6年生

狭山市立図書館 2024.7.15発行

夏休み、みんなはどんな宿題がでるのかな？

今回のテーマは「つくる！」。主人公たちがいろいろなものづくりにチャレンジしているよ！本を読んだら自分でも何かつくってみたくなるかも。



『天の台所』（JPC）

落合 由佳／著 講談社

「台所は、家の心臓なんだよ。」が口ぐせだったばあちゃんなくなり、料理ができる人がいなくなった朝田家の生活はあれていた。ある日、長男の天がいいにおいにつられ上村商店をのぞいていると、子どもたちから恐れられている店主「がみババ」に見つかり、つかまってしまう。しかられるかと思いきや、なぜかそのまま料理を習うことに。天と家族の料理はうまいく？『要の台所』（JPC）も読んでみてね。



『バナナ』知りたい食べたい熱帯の作物（J625バ）

佐藤 靖明／監修 山福 朱実／絵と造形
農山漁村文化協会

「バナナ」ってどんな作物か知ってるかな。どんな花がさく？育て方は？デザートとしてだけでなく、焼いたりあげたりして食べることもあるよね。自分で作って食べてみよう。

このシリーズは

『コーヒー』（J617J）

『パイナップル』（J625バ）もあるよ。



図書館のホームページから、読みたい本の予約ができます。

イベント、開館時間、休館日等の最新情報もこちらからご確認ください。

狭山市立中央図書館 ☎ 04-2954-4646

狭山市立狭山台図書館 ☎ 04-2958-3801

狭山市公式HP <https://www.city.sayama.saitama.jp/>



『サステナブル・ビーチ』 (JP)

小手鞠 るい/作 カシワイ/絵 さ・え・ら書房

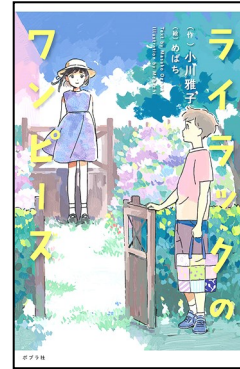
アメリカ人の母と日本人の父をもつ七海は、外見とくべつしで周りから特別視されることに、もやもやした気持ちをかかえていた。夏休みに入り、母に連れられハワイ旅行へ行くことに。ビーチを歩いていると、大きなくらげのオブジェを発見する。よく見ると、それは海辺にすてられた大量のごみで作られていた。きれいな海が人間によってよごされている現実を知った七海は、ハワイで出会った少女との交流を通し、海を守るため、自分に何ができるのかを考えはじめる。



『ライラックのワンピース』 (JF)

小川 雅子/作 めばち/絵 ポプラ社

サッカー少年であるトモにはひみつがある。それは、裁縫さいほうが大好きだということ。ある日、ハーブ園の少女リラにお母さんとの想い出がつまったワンピースのお直しを頼まれる。初めての大物お直しだけどサッカーの大事な試合もせまっている。どちらを優先させるのか…。迷いながら、トモの出した答えとは?!



『ぼくは発明家』

アレクサンダー・グラハム・ベル (EE)

メアリー・アン・フレイザー/作
おびか ゆうこ/訳 あかつき教育図書

「どういうしくみで、音は聞こえるんだろう？」アレックは耳の不自由なお母さんに会話を伝えて、音の仕組みに興味をもっている。音を使ってみんなを楽しませたり、声の出る人形を作ったりと、いつかは人の役に立つ発明がしたいと考えるように。電話の父として知られるアレクサンダー・グラハム・ベルの伝記。



『魔女図鑑』

魔女になるための11のレッスン (J147)

マルカム・バード/作・絵 岡部 史/訳 金の星社

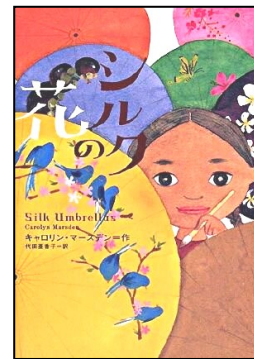
魔女といえばどんなイメージがある？ ほうきで空を飛ぶ？ おそろしい魔法をかけてくる？ 実は魔女はとってもおしゃれで、料理を作るのだって得意。ほこり入りビスケット、みみずスープ、あなたも魔女のレシピで料理が作れるかも。ちょっと不気味でゆかいな魔女の生活をのぞいてみよう。



『シルクの花』 (JS)

キャロリン・マースデン/作 代田 亜香子/訳
鈴木出版

ノイは姉のティンといっしょに、おばあちゃんが傘かさに絵かを描く手伝いみやげものをするのが大好き。土産物として売る傘に葉っぱなどのかんたんな絵を描くこともある。でも、家族のためにお金をかせいでほしいと言われ、ティンが工場で働くことに。ノイはおばあちゃんのように絵描きになりたい。この夢を家族に言えるように、自分で絵を描いた傘を売ることができるのだろうか。



『バウムクーヘンとヒロシマ』

ドイツ人捕虜ユーハイムの物語 (JC)

栗山 ひろみ/著 銀杏 早苗/絵 くもん出版

夏休みに「バウムクーヘンづくり体験」のキャンプに参加することになった、バウムクーヘンをこよなく愛する小学生颯太。

場所は広島県の似島でバウムクーヘン日本伝来の地。この地で初めて焼いた人はカール・ユーハイムさん。颯太は彼の人生と広島を過去を知ることになる。

